

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和6年2月15日

事業所名 チャイルドケア エイトぱれっとぶらす

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○			規定に基づき、利用定員に応じたスペースを確保しています。利用人数、活動内容によって、スペースを広く使ったりしております。
	2 職員の配置数は適切である	○			規定数の職員に加え、有資格者を配置しております。
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	○			何をする場所か分かるように環境設定を行っております。視覚情報でも自己判断ができるよう、イラストや写真を掲示しております。玄関や室内などバリアフリー化されております。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	○			毎日、室内・送迎車内の掃除、消毒を徹底しております。児童の特性を考え、職員全員で今一番良い空間を作ることができるように配慮しております。
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○			朝礼や書類での回覧等で共有しております。
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○			保護者の評価をしっかりと把握し、改善に繋げております。
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○			法人のホームページにて掲載しております。また、事業所内でも紙面にて公表しております。
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	○			
適切な支援の提供	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○			研修案内などがあった際には、職員へ周知し、参加希望等をとっています。参加した際には、研修報告書を作成し、職員全員で情報共有しております。
	10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	○			定期的に保護者様と面談や電話連絡等を行い、情報を収集、共有して確認を行いながら、アセスメントを実施しております。
	11 子どもの適応行動の状況を把握するためには、標準化されたアセスメントツールを使用している	○			
	12 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	○			児童発達支援ガイドラインの項目を選択し、保護者様にわかりやすい言葉、内容で設定し、計画を立て、ご家族の方に、計画の説明の際に、冊子をお見せしながら、説明を行っております。その際、ご不明な点はないかを確認していただきながら、計画書に同意をいただいております。
	13 児童発達支援計画に沿った支援が行われている	○			児童一人ひとりに合わせて、計画に沿った支援を行っております。
	14 活動プログラムの立案をチームで行っている	○			活動プログラムを全職員で共有し、内容の見直しや、役割、配置など振り分けております。
	15 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○			児童の特性や年齢に合わせて、また、静と動をうまく組み合わせたりして、工夫して行っております。
	16 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成している	○			特性や状況に応じて、作成しております。
	17 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○			毎朝朝礼、ミーティングを行い、その日の担当の職員より、活動内容、役割、配置などを伝え、職員間で共通認識を持って支援を行うよう取り組んでおります。また、日案に記し、それを職員間で回覧することで再認識して取り組んでおります。支援終了後には、終礼で必ず振り返りを行い、情報共有をし検討、改善を行っております。その際にも、ノートに記録を残し、確認しております。
	18 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○			

	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	<input type="radio"/>			当日利用した児童一人一人のできるようになったことや、発言・行動を記載し、前後比較しやすいよう努めています。
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	<input type="radio"/>			定期的なモニタリング及び面談を行い、児童の課題について見直し、職員間で共有しております。
	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	<input type="radio"/>			
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	<input type="radio"/>			関係者の方々と情報共有しております。
関係機関や保護者との連携	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている		現在、該当者なし		
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている				現在、医療的ケアの必要な児童の受け入れがないため実施しておりませんが、保護者を通じて、児童の受診内容などを把握するよう努めています。
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	<input type="radio"/>			担当者会議を行い、情報共有、相互理解を図っております。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	<input type="radio"/>			保護者様と一緒に同席させていただいて学校の先生、必要に応じて、学童の先生と情報共有をしております。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	<input type="radio"/>			外部からの研修案内を職員へ回覧しております。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	<input type="radio"/>			現在そのような機会は設けておりませんが、今後の検討課題ではあります。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	<input type="radio"/>			
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	<input type="radio"/>			連絡帳や電話連絡、送迎時にその日のことなどをお伝えしております。また定期的に、面談を行い状況確認、報告を行い共通理解に努めています。
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	<input type="radio"/>			保護者様からのご要望、困り感などをお聞きした上で、それに対し助言させていただいております。
	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	<input type="radio"/>			利用契約の際に、わかりやすく丁寧に説明を行い、利用者負担などについても書類をお見せして説明を行っております。また、保護者様にご不明な点がないか確認して質問などがあれば答えております。
保護者への説明責任等	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	<input type="radio"/>			計画の説明の際に、ガイドライン項目が記載されている冊子をお見せしながら、説明を行っております。その際、ご不明な点はないかを確認していただきながら、計画書に同意をいただいております。
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	<input type="radio"/>			ご相談があった際には、まずは傾聴し、その中で、助言、対応をさせていただいております。
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	<input type="radio"/>			親子レクリエーションを通じて関わる機会を設けております。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	<input type="radio"/>			ご相談があった際には、その都度助言、対応を行っております。
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	<input type="radio"/>			毎月園だよりを発行し、配布させていただいております。連絡事項、児童の様子を提供しております。また、変更やお知らせがある際も、その都度手紙を作成、配布し、対応を行っております。
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	<input type="radio"/>			施錠されており、持ち出しあしないよう周知しております。
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	<input type="radio"/>			児童、保護者様の話を傾聴し、意見やご要望にもこたえられるよう、常に体制を整えるなど心がけております。

	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	<input type="radio"/>			老人クラブの方々との交流を行わせていただきました。
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	<input type="radio"/>			それぞれのマニュアルを策定し、周知しております。訓練も定期的に行い、園だよりなどで報告しております。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	<input type="radio"/>			毎月1回児童・職員で地震や火災を想定した訓練を行っております。その際の記録も、記載しております。(そのうち、年に1回は消防署立ち合い)
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認している	<input type="radio"/>			情報共有しております。
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	<input type="radio"/>			現在、該当者はおりません。直接医師からではなく、保護者様からお聞きして、対応しております。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	<input type="radio"/>			ヒヤリハットをまとめており、常に職員が閲覧できるよう、保管しております。また、事案が起きた際には、報告書を作成し、情報共有、対策、対応を行っております。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	<input type="radio"/>			虐待防止の研修を実施し、対応しております。
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	<input type="radio"/>			現在、身体拘束を要する児童はありません。